



岡田 舞子

1993年岩手生まれ、半年間で少し大人に成長してきたと考えております。

撮影テーマ

撮影地は自然に関する聖地です。岡田は大自然の中で生まれ変わってきます。

最近のエントリー

- ▶ いけ。(2013.08.29)
- ▶ マレーシアへ(2013.08.10)
- ▶ 奥の奥へ(2013.08.09)

アーカイブ

- ▶ 2013年10月
- ▶ 2013年09月
- ▶ 2013年08月
- ▶ 2013年07月
- ▶ 2013年06月
- ▶ 2013年05月
- ▶ 2013年04月
- ▶ 2013年03月

投稿カレンダー

カテゴリー一覧

ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



海外フォトフィールドワーク WeBlog

Blog

単純に。

いけ。

[Tweet](#)

[Check](#)

岡田です。

月日はあつという間に過ぎ去り、残すこと2週間弱となりました。

2週間に1回は体調不良になやまされ、調子がいい時は最後のスクーリング期間の時期だけでした。

フリー期間は絶対にかんばるんだ。かんばらねばならねんだ！

と言いつつ必死にかんばりたいと思う。

施設に置いてあるみんなのメッセージ帳に前半と後半同じ『がんばれ！自分』と書いた。

頑張れたのか？そう考えるのは日本に帰ってからにしよう。

いつも冷静な平野がめずらしく、うるたえるな！思考をとめるな！写真を撮ることを諦めるな！なんていうから、私は驚いたけど平野もそのくらいになるのなら私はもっと熱くなろう。

んだば。

カテゴリ:

post by 岡田 舞子 | 日時: 2013.08.29 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

マレーシアへ

[Tweet](#)

[Check](#)

おぼんです。

岡田です。

今日中国からマレーシアに移動しました。

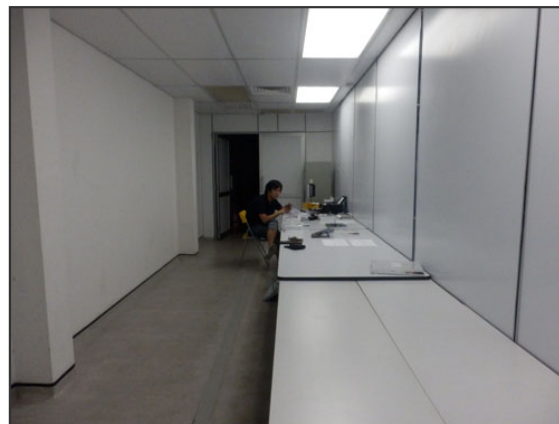
久しぶりの長坂先生に再会し、気合いがはまります。

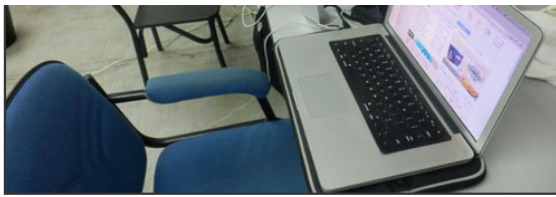
今日からさっそく作業が開始します。

前半と違いみんなも動きが速いです。

夕飯はみんなでマレーシア料理をたべ明日から本格的に始動します。

さーみなさん2週間がんばりましょう！





カテゴリ：
post by 岡田 舞子 | 日時: 2013.08.10 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

奥の奥へ

[Tweet](#)

[Check](#)

こんにちは
ウーツーです。

中国にて真の連鎖から抜け出しつつあります。

まーでも出だしは最悪でしたが、

峨眉山 3000メートル
廬古湖 2600メートル
廬古湖の山 3700メートル
麗江 2400メートル
シャングリラ 3000メートルちよい
徳欽（飛來寺） 3300メートル
と中国は高地三昧だす。

後半は徳欽と言う場所にいました。
ここはチベット自治州なのでチベット人も多くいます。

シャングリラから徳欽まではバスで7時間と調べて
いました。遅いときは10時間もかかると。
廬古湖も8時間かかったので嫌だなと思っていたら
5時間で着いた！
道路が整備され徳欽はいまや観光地になりつつあります。
といっても観光者はトレッキング目当ての人たちしか
いませんが、

徳欽から歩いて1時間の所に飛來寺という場所があり
そこからはチベット仏教の聖山梅里雪山が一望できます。

そして梅里雪山に近づくために雨崩村へ。
この村に行くには2600メートルの西当温泉から
3600メートルの山を登り3000メートルまで
下ります。時間との戦いで私の本気を見せました。

この5ヶ月近くで一番しんどかった、、、

ただこの村はほんとにすばらしいところにありました。
アジアで一番の田舎にいった気がします。

明永村と悩みましたが、氷河も見なかったけど、
案外時間とお金がたりなかった、、、

徳欽では雇いの中国人、チベット人に囲まれラサのお土産も
もらってすごくいい時間が過ごせました。

高地にいるせいでまた日に焼けたけど、そんなことは
どうでもいい、

食事もおいしい。景色はきれい。
中国いいところです。

やはり私は都会は苦手です。
虫の声が聞こえたり、綺麗な風を感じられるそんな場所
が好きです。

盧古湖



麗江



シャングリラ



徳欽まで移動中。





ロバが活躍



徳欵



高地の草原はきもちいい。きっとハイジも同じ気持ち。



雨崩村。名前の通り雨はすごいけどその後の虹がすごいらしい。



もう10カ国がおわります。

日本を離れることで不安が多かった出発前
もうその不安は消えて自信に変わりました。

前半のスクーリング期間にもえさん、橋場さん
富田さんにFWで何が残せるかって言われたとき私は答えられなかった。

あと1ヶ月fwで何が残せるのか？日本に帰ったらちゃん答えられる自分でありたい。

悔しい思いや悲しい思いはたくさんしてきたけど、こんなにも
自分が成長していると感じられる時間は日本ではなかったと思う。

後半のスクーリングでまたなにか少しでも成長できればいいです。

日本はお盆に入りますがそんな中スクーリングにわざわざ来てくださる
先生方に感謝して思いっきり写真と向き合います。

んだばね

カテゴリ :

post by 岡田 舞子 | 日時: 2013.08.09 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

▲ Pagetop